

浅川町桥梁定期点検結果

令和3年3月

福 島 県 石 川 郡 浅 川 町

1.健全性の診断

定期点検では、部材単位の健全性の診断と道路橋毎の健全性の診断を行う。

1.1 部材単位の健全性の診断

部材単位の健全性の診断は、下表の判定区分により行うことを基本とする。

判定区分

区 分		状 態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じている可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

点検時に、うき・剥離や腐食片・塗膜片等があった場合は、道路利用者及び第三者被害予防の観点から応急的に措置を実施した上で上記Ⅰ～Ⅳの判定を行うこととする。

調査を行わなければ、Ⅰ～Ⅳの判定が適切に行えない状態と判断された場合には、その旨を記録する。(記録表に要調査の旨を記録する。)

判定区分のⅠ～Ⅳに分類する場合の措置の基本的な考え方は以下の通りとする。

- Ⅰ：監視や対策を行う必要のない状態をいう
- Ⅱ：状況に応じて、監視や対策を行うことが望ましい状態をいう
- Ⅲ：早期に監視や対策を行う必要がある状態をいう
- Ⅳ：緊急に対策を行う必要がある状態をいう

1.2 判定の単位

部材単位の健全性の診断を、下表に示す評価単位毎に区別して行う。

判定の評価単位の標準

上部構造			下部構造	支承部	その他
主桁	横桁	床版			

なお、部材が複数ある場合、それぞれの部材について橋全体への影響を考慮して判定する。

1.3 変状の種類

部材単位の健全性の診断は、下表に示す変状の種類毎に行う。

点検項目（変状の種類）の標準

部位・部材区分		対象とする項目（変状の種類）		
		鋼	コンクリート	その他
上部構造	主桁	腐食 亀裂 破断 その他	ひびわれ 床版ひびわれ その他	
	横桁			
	縦桁			
	床版			
	その他			
下部構造			ひびわれ その他	
	橋脚			
	橋台			
	基礎			
	その他			
支承部				支承の機能障害
路上				
その他				

同じ部材に複数の変状がある場合には、それぞれの変状の種類毎に判定を行う。

1.4 道路橋毎の健全性の診断

道路橋毎の健全性の診断は下表の判定区分により行う。

判定区分

区 分		状 態
I	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じている可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

部材等の変状が橋梁全体の健全性に及ぼす影響は、構造特性や変状の原因並びに進行性、架橋条件等によって異なるため、道路橋毎の健全性の診断にあたっては、部材単位の健全性の診断結果を踏まえて、複数の部材の複数の変状を総合的に評価する。健全性の診断では、変状の原因の推定に努め、措置の範囲や方法の検討に必要な所見を残す。

1.6 点検結果のとりまとめ

点検結果及び診断結果について、道路橋定期点検要領【平成31年2月、国土交通省道路局】の様式1、様式2を作成し記録する。なお、貸与された橋梁台帳について、調査点検の結果より、記載情報等に現地との差異が確認された場合には、委託者に報告を行う。

橋梁点検結果一覧表

番号	橋梁名	路線名	橋長 (m)	全幅員 (m)	架設年次	点検実施 年 度	判定区分
1	小貫橋	竹ノ内東ノ町線	46.00	5.0	1995	R1年度	II
2	太田輪橋	荒町太田輪線	47.30	7.0	1981	R1年度	II
3	滝大川橋	滝輪背戸谷地線	59.50	6.8	1998	R1年度	III
4	青砥橋	里白石石原線	53.16	7.5	1994	R1年度	II
5	岩下橋	中里松ノ入線	10.00	5.0	1975	R2年度	II
6	松ノ入橋	中里松ノ入線	12.45	5.0	1974	R2年度	II
7	内畑橋	御前沢余郷根線	12.54	4.0	1975	R2年度	II
8	川原田橋	中里松ノ入線	21.88	6.1	1978	R1年度	II
9	舞台橋	美谷田中里線	21.15	7.0	2001	R1年度	II
10	恵比寿宮橋	恵比寿宮線	22.85	6.0	1982	R2年度	II
11	附掛橋	裏門美谷田線	24.80	5.0	1983	R1年度	II
12	青葉橋	月斉城山線	31.80	4.0	1975	R2年度	I
13	破石第一橋	曲屋破石線	2.20	4.6	1979	R2年度	I
14	山森田橋	大窪橋上沢線	6.00	3.4	1974	R1年度	II
15	東今田橋	宮下下菖蒲庭線	3.80	5.0	1981	R1年度	III
16	古屋橋	古屋菖蒲庭線	8.35	5.0	1985	R2年度	I
17	湯治田橋	出シ寺ノ前線	6.35	5.0	1965	R1年度	II
18	竹の葉橋	里白石石原線	7.10	7.1	1970	R1年度	II
19	梨子ノ草橋	梨子ノ草古屋敷線	4.60	3.5	1984	R2年度	II
20	中田橋	躰田中田線	6.40	4.0	1974	R2年度	I
21	躰田橋	躰田塚本線	6.40	4.5	1988	R1年度	II
22	八ツ堀田橋	美谷田線	6.40	3.4	1973	R2年度	I
23	美谷田橋	美谷田中里線	5.20	4.0	1988	R1年度	II
24	蛭川橋	根岸中里線	2.82	4.0	1978	R2年度	II
25	大草川橋	弥五郎内上塙線	13.90	4.0	1977	R2年度	II
26	堀川橋	板倉前平田線	22.85	3.5	1980	R1年度	II
27	新屋橋	城山再見形線	23.00	6.0	1984	R2年度	II
28	入ノ作橋	内田線	10.15	3.0	1969	R1年度	II
29	殿川橋	中里線	13.00	5.2	1967	R1年度	II
30	橋上沢橋	東大畑山白石線	3.40	9.0	2002	R2年度	II
31	浅川橋	滝ノ台線	54.70	7.0	2007	R2年度	II